



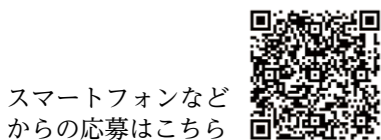
お便りBOX

皆さんからいただいたお便りを紹介します。
今後の広報誌づくりの参考にさせていただきます。

◆特集「結婚」はとてもタイムリーですねー昨年7月に「市結婚サポートセンター」を開設し、11月に1組のカップルがめでたく結婚されたとのこと。誠にめでたくございます。たくさんのカップルの誕生を期待しています。

A・Tさん(松浦町)70代女性

◆まちなか交流センター、どんな感じになるか本当に楽しみです。集まる場所があるって素晴らしいですね。「コミュニケーション



スマートフォンなどからの応募はこちら

Q. あなたが好きなコーナーはどれですか？(複数可)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 表紙 | 2. 特集 |
| 3. 行政 info | 4. タウントピックス |
| 5. 子育て連絡帳 | 6. チャイルドトピックス |
| 7. 健康だより | 8. 図書館へ行こう！ |
| 9. お便りBOX | 10. なすしおばら珍百景 |
| 11. ちっちゃな自然 | 12. 編集後記 |
| 13. げんきびと | 14. ものづくり若人 |
| 15. 私のまちの近い遺産 | |

広報なすしおばらを読んだ感想、取り上げて欲しい話題や記事などをお書きください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

※いただいたご意見は、内容を変えない範囲で添削させていただく場合があります。
※紙面の都合上、掲載できない場合がありますのであらかじめご了承ください。

◆特集「いつまでも自分らしく」を読んで、93歳なので先の老後の心配もありますが、三森先生のようなお医者さんに出会えたら他界する時は暖かな自宅で迎えることができると思います。先生頑張ってください。

K・Oさん(木綿畑)90代女性

◆次男のお嫁さんが宇都宮市から那須塩原市に来てビックリしたことは、小・中学生が通りすがりに挨拶をしてくれること。なんだか嬉しくなりました。日常のさり気ないことって大切ですね。

お島はあばさん(下永田)60代女性

◆シヨンが出来て、孤独感がなくなる温かい市にしたいですね。

K・Sさん(鍋掛)50代男性

◆最近の広報の充実ぶりに感心しています。素敵な広報だと思いた記事中の写真が素晴らしいですね。他市町に誇れる広報紙です！

えみりくおばさん(鍋掛)60代女性

◆化や晩婚化、そして少子高齢化も深刻になっている近年、親御さんが心配している話を良く聞くようになりました。経済的に余裕が無いから結婚できないという理由もあるように思いますが、でも、人それぞれ自分なりに楽しんで生きることがとても大切に思います。結婚支援ももちろん大切に思います。

F・Fさん(埼玉)60代女性

◆市の広報は月2回発行されますが、他市町では月1回のところもあります。予算軽減と自治会班長の業務を減らすためにも回数を減らしてほしいと思います。よろしく検討ください。

Y・Rさん(石林)60代女性

◆市内で芸術分野(文芸や工芸など)において活躍する人を紹介してほしいですね。

ペガサスさん(清任町)40代男性

その他にも、たくさんのお便りをいただきました。ありがとうございました。

図書館 HP



図書館へ行こう！

午前9時30分～、平日は午後7時、土・日は午後6時まで開いています。



NEW!

『ばっちゃん 子どもたちの居場所。広島のマザー・テレサ』

著：伊集院 要 扶桑社
「ばっちゃん」こと中本忠子さん(83歳)。自宅を開放し、やってくる子どもたちの食事ばかりか、その家族にまでお弁当を持たせ、彼女自身が今もなお子どもたちの居場所であり続けている。

お帰りと言って抱きしめたら子どもは必ず立ち直る

『ある女の子のための犬のお話』

著：ダーチャ・マライーニ 未来社
イタリアを代表する作家・詩人・劇作家でもある彼女が、お話しをせがんだ女の子への手紙の中で描かれたいくつかの物語。犬や他の「いのち」の息づかいに呼応しながら現実を語る。

著者が贈る「いのち」の花束十二篇

『図書館を心から愛した男—アンドリュー・カーネギー物語』

文：アンドリュー・ラーセン 六耀社
数多くの図書館設立に貢献したアンドリュー・カーネギーの生涯を描いた伝記絵本。慈善活動にいそしんだ彼の人生は学ぶことと分け与えることの大切さを教えてくれます。

学ぶことが将来の自分をつくる糧になる

イベント情報

「おひなさまかざりを作ろう！」おはなし会と工作会

おはなし会の後に工作会を行います。ハサミを使った作業などはありませんので、小さなお子さんでも安心して作業できます。

- ▶とき 2月17日(土)午前10時30分～11時30分
- ▶ところ 塩原図書館
- ▶対象 小学生以下のお子さん
- ▶参加費 無料
- ▶定員 定員なし(申し込み不要)
- ▶問い合わせ 塩原図書館



『今さら聞けない 手芸の基礎がよくわかる！ 基本のピンワーク』

監修：貴和製作所 日東書院本社
アクセサリーを作る時の基本の道具や材料の扱い方が分かりやすく写真付で解説され、初心者向けに通すだけ、つなぐだけ、貼るだけなどのアクセサリー紹介もあります。

道具いらずでできるアクセサリーもあります

『クマと森のピアノ』

作：デイビッド・リッチフィールド ポプラ社
クマのブラウンはある日森の中でピアノを見つける。ピアノを弾くことが大好きになったブラウンは森にやってきた人間のすすめで仲間たちと離れて“街”へ行くことになり…。

仲間たちのブラウンへの思いに感動します

『安寿姫草紙』

作：三田村 信行 ポプラ社
父と母、そして弟と過ごしていた安寿の幸せな日常は過去に犯した罪のせいで崩れてしまう。さまざまな出会いに助けられながら、弟を守るために困難に立ち向かった姫の物語。

「山椒大夫」の名で知られる、家族の絆の物語

「この本よんでみて! コンテスト2017」 審査結果発表

「この本よんでみて! コンテスト」は、自分のオススメの本を紹介する、市内の小中学生を対象としたコンテスト。今年は右の3部門で審査が行われ、学年ごとに最優秀賞・優秀賞・特別賞が選ばれました。最優秀賞の受賞者を紹介します。

作品は図書館ホームページから見るができます。(3月上旬に掲載予定)

「たいせつな人に本をすすめる手紙を書こう/返事を書こう」部門
佐藤隆成(西小1年)、田中詩恵(東原小2年)、大森美穂(三島小3年)、熊谷定哲(三島小4年)、森屋優芽(槻沢小5年)、林東樹(槻沢小6年)

友だちにすすめる本の紹介カードを作ろう部門
足助柊哉(波立小3年)、渡辺琴音(大原間小4年)、宮澤亜純奈(槻沢小5年)、清水咲良(南小6年)、吉岡楓(日新中1年)、西海石日香(日新中2年)、八木真帆(西那須野中3年)

本の小ばこを作ろう部門
山岸寿運(大山小1年)、小河原碧(埼玉小2年)、小河原理々(南小3年)

▶問い合わせ 西那須野図書館 ☎(36)6001 黒磯図書館 ☎(63)9031 塩原図書館 ☎(48)7521